

|| おもちゃ箱ふれあいの丘

1. ふれあいの丘理念「日々の発見と感動を共有する」

子ども達にとって、日々の生活の中にこそたくさんの発見があり、そこから多くの事を学んでいます。それは、自分の個性・持ち味（自己理解）であったり、人との関わり（他者理解）であったり、事物を大切にすること（身の回りの物や習慣）であったりと個々によって興味関心、ペースは違いますが、日々学び、成長しています。成長の土台を作る子ども時代に、どれだけ多くのものを見たか、聞いたか、触れたか、感じたかがその子の将来に多大な影響を与えます。

日々の生活の中で、体験を通して広がる感動を、子ども達、そして保護者と共に分かち合いたいと考えます。

2. 行動指針「体験を通して生きる力を育む」

集団遊びや小集団での制作、調理、戸外活動、個々での課題別学習等の様々な体験を通して、人との関わりや社会のルールやマナー、物事への興味・関心、やり遂げることで得られる達成感等を育んでいきたいと考えています。また、年齢や発達の違う子ども達が一緒の環境で過ごすことで、年下の子が年上の子を見て遊びを発展させたり、年上の子が年下の子の面倒を見ることで思いやりの心が育ったりと、相乗効果も期待できます。

子ども達がこれから社会で生きていく上で必要な要素を折り込みながら、サービスの提供を行っていきたいと考えます。

3. 経営理念「寄り添い、共に成長し合う居場所作り」

子ども達は、よく見ています。自分を理解してくれる支援者であるか、寄り添ってくれる支援者であるか。まずは、その子を理解するため支援者が寄り添い、個々の特性や発達段階を理解した上で、個に応じた支援を行うことが大切です。また、周りで支える支援者全員が、子ども達の日々の様子や情報を共有し、より良い支援方法を模索することで子どもと共に支援者も多くを学び成長できると考えています。